

鶴が丘 第10号 令和7年5月

はあとネット通信

発行元 鶴が丘はあとネット

理事長挨拶

拝啓 春光うらかな季節となりました。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、私たちのボランティア団体は、地域の皆様と共に支え合い、助け合うことを理念に活動を続けて10年目を迎えることが出来ました。活動を通して、多くの方々との出会いがあり、多様な経験を積むことが出来たことを心から感謝申し上げます。これまで新型コロナウイルスの影響を受けたり、夏場の猛暑の影響を受けたりで、活動が制限されることも多くありましたが、私たちはその中でも日常の支え合い活動に加えて新たな形での支援を模索し、お茶の間サロンやスマホ教室など地域密着型のサービスを展開することが出来ました。皆様の温かいご支援とご協力のおかげです。今後も私たちは、ボランティア活動を通じて、笑顔や温もりを届けられることが出来るよう、一人ひとりの思いを大切にしていまいります。この機関紙が、私たちの活動の記録であると同時に、地域コミュニティの絆を深める一助となることを願っております。どうぞ、引き続きご支援、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。最後に、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り致します。 敬具

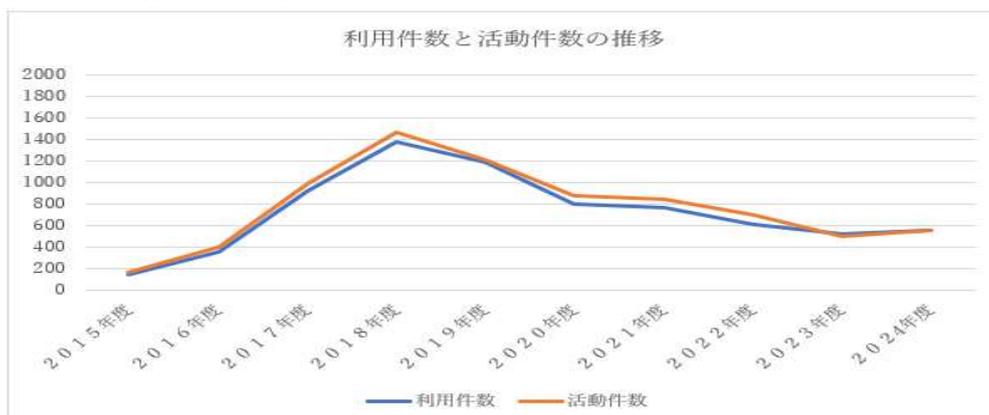
(理事長 千葉 均 記)

発足からこれまでの活動推移

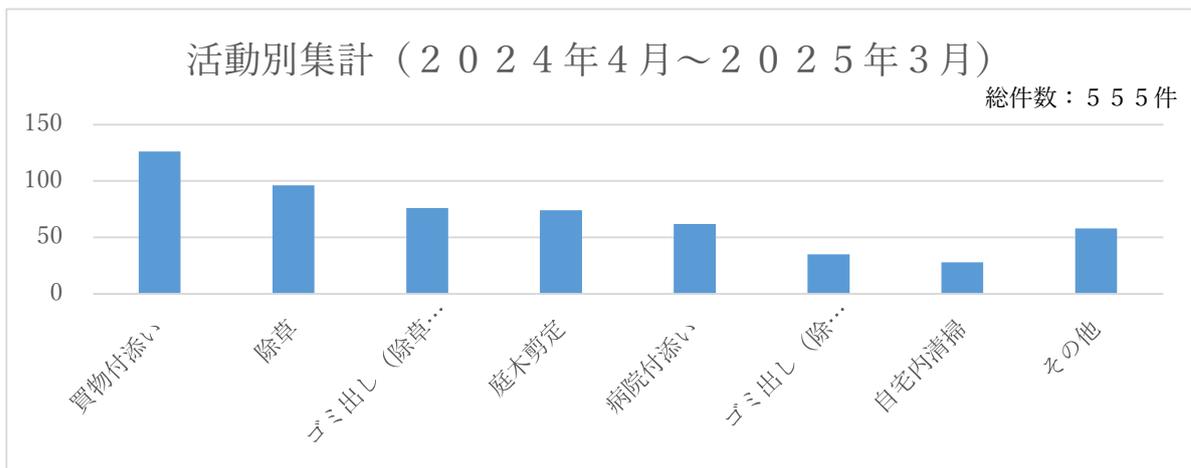
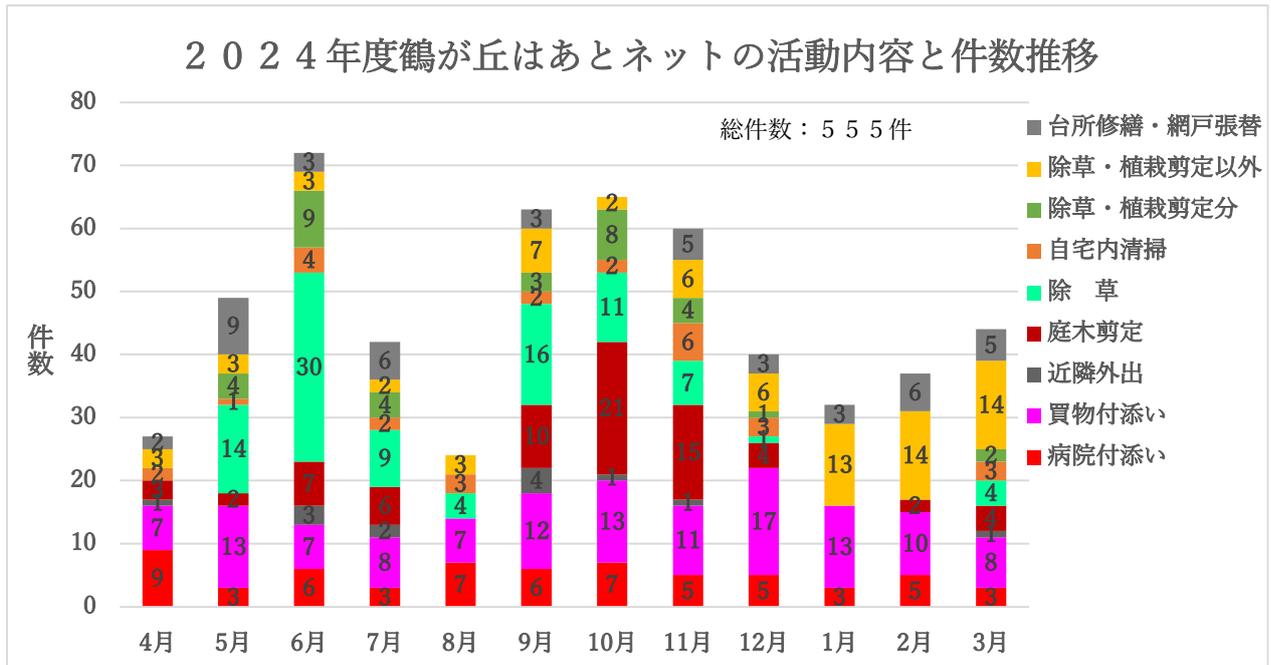
鶴が丘はあとネットは発足してから今年1月で10年となりました。

発足からこれまでの利用件数（活動件数）を下記に示しました。

発足当初は200件／年に満たない状況でしたが徐々に活動が認知され2018年頃には1400件／年ほどに増加しました。その後、コロナ禍により減少しました。ここ数年は凡そ500件／年ほどです。利用会員の方々が高齢になり健康面や日常生活の問題などで施設に入所される方やお亡くなりになる方がいたりして利用件数が増加に至っていない面があります。



2024年度の活動



上のグラフは昨年度（2024年度）の月毎活動件数とその内容です。
 夏の時期の8月は特に猛暑のため外での活動を休止させていただきましたので低下しています。
 活動内容は例年ですと病院付き添いと春から秋にかけての除草や剪定が多いのですが、買物の付き添いが増加しています。また、除草などのゴミ出し以外の定期的（毎週）なゴミ出しも増加しています。高齢により健康面が優れず日常生活でも支えが必要な方が増加してきていると推測しています。また、家屋などの修繕などもご依頼があり、出来る範囲で対応させていただいています。利用者様のお困り事は様々ですが困った事がありましたらご相談ください。

理事会を開催しました

昨年10月11日と今年4月11日に理事会を鶴が丘一丁目集会所で開催しました。
 10月は前期9月までの活動状況や収支状況などの運営状況、4月は2024年度全体の運営状況と2025年度の事業計画や収支予算、理事・監事の選任の人事などが議題となりました。
 活動者も高齢化により減少方向です。活動者・利用者の募集チラシ投函やイベント時に声かけをして活動者と利用者の会員増加を目指しています。地道に継続して行くこととしています。

シニアのためのスマホ教室を開催しました

これまでに3年間「シニアのためのスマホ教室」を協働事業として開催して来ました。昨年度は認定NPO法人仙台シニアネットクラブ様と協働で前期と後期に分けて松陵地区と鶴が丘地区にお住まいの方を対象に行いました。

令和6年度□スマホ教室の様子

前期：9月10日実施例（場所：松森市民センター□会議室）後期：2月17日実施例（場所：鶴が丘コミュニティーセンター 会議室）



募集チラシをポスティングという形で行い松陵地区では19名、鶴が丘地区では21名の参加申込をいただきました。年齢は65歳以上とさせていただきました。

前期、後期ともに4日間のコースで基本的な操作から写真や地図(Google マップ)、動画(You Tube)やLINEそして安心・安全に使用するためのポイントなどを学びました。

講師(サポーター)が凡そ受講者二人に一人に対応されてとても良かったとの声が聴かれました。

仙台市高齢企画課「住民主体による訪問型支え合いサービス」

昨年も仙台市高齢企画課で募集している補助金制度の「訪問型生活支援活動促進事業における補助金」に申請し交付をいただきました。2024年度は4月～2025年3月までの期間でした。利用会員の中から、介護保険制度の要支援者1・2に認定されている方と、豊齢力チェックリストで支援対象に該当される方を対象として包括支援センターと共同で日常生活支援を行う制度です。該当する方々には地域包括支援センターで作成するケアプランが必要になります。

2024年度の対象者は15名で延べ258回の活動が有りました。

利用者様全体への活動にもコーディネート補助金(活動者平均人数による/月)をいただきました。

この補助金は鶴が丘はあとネットの運営資金になっているのでとても助かる制度でした。

利用者様で地域包括支援センターのケアプラン対象者になっていない方は、この機会に、ケアプランの作成に協力を頂ければ幸いです。事務局に連絡いただければ対応させていただきます。

2025年度も同課より募集がありましたので申請させていただきました。

ただ、補助金の交付は翌年度(2026年度)になります。

要件は若干見直しがありました但し事務作業的な部分ですので対処可能です。

お茶の間サロンを開催しました



9月サロン



12月サロン

昨年度は利用会員様と活動者様が一緒に集う「お茶の間サロン」を初めて企画して鶴が丘コミュニティセンターで9月13日と12月5日の二回開催しました。

9月は26名の参加で12月は31名の参加人数でした。約6人／グループで構成し漫談や懐かしい曲のハーモニカ演奏、そして自己紹介や世間話の会話に花が咲きました。

凡そ2時間でしたが皆さん色々な話の会話にとっても良いひと時を過ごされました。

継続の声が聴かれ2025年度も企画していますので楽しみにしていただければと思います。

活動者・利用者・関係者の皆様へ

しばらくコーディネーターは1名体制でしたがお一人参加されて2名体制となりました。

下記の連絡先電話番号はコーディネーターの電話になります。

先だって、ご案内差し上げました通りです、よろしくお願い申し上げます。

私たちは、地域の方々を支えるボランティア活動を通して社会貢献をしています。

その活動は、皆さんが日々の生活の中で抱えている様々な困難を支援することに焦点を当てています。

鶴が丘はあとネットも発足して10年が経過しますが利用者様また活動者様も10歳を重ねました。

この支え合いの仕組みを継続するには何よりも皆様の力が重要です。

元気なうちは地域社会のつながりを保ちながら活動者としてのボランティア活動をお手伝いが必要になったら利用者としての会員登録ができます。活動（利用）の結果として発生するツールカードは地域の会員商店様で現金の一部として利用することができます。

ご近所・ご友人などの方に活動者・利用者になって、鶴が丘はあとネットの活動に参加して頂けるように是非誘って下さい。

老若男女問わずボランティア活動である「支える・支えられる」に興味のある方ならどなたでも活動に参加することができます。

皆さんで地域貢献活動をしましょう。

連絡先：鶴が丘はあとネット事務局

事務所 鶴が丘一丁目26-5

電話：090-2974-9100（鶴谷）

090-2889-9200（菅田）

（代表）070-5478-2049



ホームページQR

メール：heart@tsurugaoka.com